

肌トラブル因果の連鎖レベル『進行段階』

-『どのような肌になりたいか』に最も影響が大きいレベルは-

最も影響が大きいレベルは「ターンオーバー機能の低下」です。ターンオーバーが正常に機能しないと、肌の修復が遅れ、バリア機能が回復しにくくなります。これにより、乾燥や敏感肌が悪化し、さらには他の肌トラブルが発生しやすくなります。

● ターンオーバー機能の低下:

皮膚バリアが壊れ、バリア機能が低下し、角質水分保持力が低下すると肌が乾燥しやすくなり、敏感になったりします。角質層が乾燥すると、睡眠中のターンオーバー機能が低下し、肌の修復能力が落ち、バリア機能の回復が遅れるため、さらに角質水分保持力が低下し乾燥・敏感が悪化します。すると、他のトラブルを引き起こすリスクが高まります。この段階『ターンオーバー機能低下』では、皮膚バリア修復ケアだけではなく、睡眠などの養生が必要となることが多いです。

次に、「ターンオーバー機能低下」に最も影響が大きいレベルは、初期段階の「皮膚バリアの状態が悪化」と「バリア機能が低下」と「角質水分保持力低下:乾燥」です。これらの因果の連鎖的な影響が続き、「ターンオーバー機能低下」に繋がります。

● 肌トラブル因果の連鎖レベル『進行段階』

1. 皮膚バリアの状態が悪化
2. バリア機能が低下
3. 角質水分保持力が低下
4. 乾燥あるいは敏感が発生
5. ターンオーバーが乱れる
6. 長期間角質剥離不全(古い角質が肌表面に残る)が起きる
7. 長期間角質肥厚(角質層が過剰に産生)が起きる
8. 長期間バリア機能のある角質層が再生されない
9. 長期間角質水分保持力あるいは過敏反応抑制力が低下する
10. 長期間肌が乾燥あるいは敏感
11. 長期間他の肌トラブルや二次的な症状が発生(アトピー、かぶれ(接触皮膚炎)、アレルギー反応、じんましん、紅斑、慢性的なかゆみ、湿疹など)